



## ネパール2018年経済センサス



### 速報結果の概要

ネパール2018年経済センサス実施に向けた  
中央統計局能力強化プロジェクト

チーフ・アドバイザー 西 文彦

2018年9月13日

1

#### ネパール2018年経済センサス 速報結果の概要 主要指標

##### 【主要指標】

**事業所数：922,445 事業所**

事業所密度：6.3 事業所 / km<sup>2</sup>

千人当たりの事業所数：31.6 事業所 / 1,000人

一事業所当たりの人口：31.7 人 / 事業所

従業者数：3,408,746 人

うち男性：2,044,989 人

うち女性：1,363,757 人

従業者数の性比：150 (男 / 女 × 100)

一事業所当たりの従業者数：3.7 人 / 事業所

これらの数値は、ネパール史上初めて公表されたものである。

2

### 事業所数 (100万単位) の国際比較

ネパール:	0.9
日本:	5.8
インドネシア:	26.7
スリランカ:	1.0
カンボジア:	0.5

これらの5か国の中では、ネパールの事業所数は、比較的少ないことがわかる。

### 千人当たりの事業所数 (事業所/1,000人) の国際比較

ネパール:	31.6
日本:	45.4
インドネシア:	104.6
スリランカ:	50.3
カンボジア:	34.6

これらの5か国の中では、ネパールの事業所数は、その人口に対して比較的少ないことがわかる。  
これは、ネパールが、内陸国であり、なおかつ山岳国であるという地理的に不利な条件が重なっていることが主な要因と考えられる。

### 事業所密度 (事業所/km<sup>2</sup>) の国際比較

ネパール:	6.3
日本:	15.3
インドネシア:	13.9
スリランカ:	15.5
カンボジア:	2.8

これらの5か国の中では、ネパールの事業所密度は、その面積に対して比較的低いことがわかる。これも、ネパールが、内陸国であり、なおかつ山岳国であるという地理的に不利な条件が重なっていることが主な要因と考えられる。

### 従業者数の性比 (男/女 × 100) の国際比較

ネパール:	150.0
日本:	125.7
インドネシア:	183.9
スリランカ:	154.0
カンボジア:	63.4

これらの5か国の中では、ネパールの従業者数の性比は、平均的ではあるものの、男女平等の観点からは、未だ女性の比率が低いことがわかる。また、経済センサスの調査対象外である農林漁業をみると、ネパールでは、女性従業者の比率が高いので、非農林漁業では、男性が1.5倍となっている。

一事業所当たりの従業者数（人/事業所）の国際比較

ネパール:	3.7
日本:	9.9
インドネシア:	2.6
スリランカ:	2.8
カンボジア:	3.3

これらの5か国の中では、ネパールは、やや多くなっている。  
これは、ネパールでは、屋台等の路上営業が比較的少ないため  
と考えられる。

事業所数の上位5県 (District)

カトマンズ:	123,994 事業所
ジャパ:	38,741
ルバンデヒ:	38,415
モラン:	35,237
スンサリ:	31,486

これらの5県をみると、首都カトマンズのみが群を抜いて  
事業所数が多く、全国の13.4%を占めている。  
また、カトマンズ以外の4県は、ネパールでは南側にあたる  
タライ平原に位置している。

事業所密度 (事業所/km<sup>2</sup>) の上位5県

カトマンズ:	313.9
バクタプール:	164.9
ラリットプール:	70.2
ルパンデヒ:	28.2
スンサリ:	25.0

これらの5県をみると、上位3県は、カトマンズ盆地に位置しており、カトマンズ盆地における事業所密度の高さが群を抜いていることがわかる。また、事業所数をみると、これらの上位3県で、全国の18.5%を占めている。一方、その他の2県は、タライ平原に位置している。

従業者数 の上位5県

カトマンズ:	575,003 人
ルパンデヒ:	163,045
モラン:	143,386
ラリットプール:	139,686
ジャパ:	129,180

これらの5県をみると、首都カトマンズのみが群を抜いて従業者数が多く、全国の16.9%を占めている。また、カトマンズ及びラリットプール以外の3県は、タライ平原に位置している。

ネパール2018年経済センサス 速報結果の概要 上位5県

従業者数の性比 (男/女 × 100) の上位5県

バラ:	301.9
ラウタハット:	300.5
パルサ:	281.5
カピルバスツ:	268.5
マホッタリ:	264.4

これらの5県は、いずれも、タライ平原に位置している。  
また、これらの地域では、女性が、経済センサスの調査対象外である  
農林漁業に従事している比率が高いため、  
非農林漁業では、男性の割合が高くなっている。

11

ネパール2018年経済センサス 速報結果の概要 上位5県

一事業所当たりの従業者数 (人/事業所) の上位5県

ラリットプール:	5.2
マナン:	4.9
カトマンズ:	4.6
ラムジュン:	4.6
サルラヒ:	4.6

ラリットプール及びカトマンズには、多くの大企業が本社を構えているため、  
一事業所当たりの従業者数が多くになっていると思われる。  
サルラヒには、有名な製糖工場が数社あり、そこで、  
数千人を雇用しているため、一事業所当たりの従業者数が多くになっている。

12

## ネパール2018年経済センサス 速報結果の概要 上位5市 (Municipality)

### 事業所数の上位5市 (Municipality)

カトマンズ: **79,607** 事業所

ポカラ: **28,222**

ラリットプール: **18,373**

バラトプール: **17,066**

ピラトナガル: **10,383**

(ブトワル: 10,141)

これらの5市をみると、首都カトマンズのみが群を抜いて事業所数が多く、全国の8.6%を占めている。

## ネパール2018年経済センサス速報結果

- [ネパール県別地図 \(PDF : 659KB\)](#)
  - [主要指標 \(PDF : 18KB\)](#)
  - [調査の概要 \(PDF : 33KB\)](#)
  - [結果の概要 \(PDF : 40KB\)](#)     [日本語版 \(PDF : 26KB\)](#)
  - [統計グラフ \(PDF : 58KB\)](#)
  - [統計地図 \(PDF : 5,457KB\)](#)
  - [統計表 \(PDF : 592KB\)](#)
  - [調査票B \(PDF : 3,406KB\)](#)
  - [要計表 \(PDF : 142KB\)](#)
  - [調査の範囲 \(PDF : 88KB\)](#)
- 
- [市郡別地図](#)
  - [市郡別結果表](#)

ネパール2018年経済センサス 今後の公表予定

1. 速報集計結果 (2018年9月13日公表済み)

**National Report No. 1, 2**

2. 確報集計結果 (2019年6月以降、順次公表予定)

**National Report No. 1 ~ 5**

**Provincial Report**

**Census Atlas**

**Analytical Report No. 1 ~ 9, etc.**

**Ward Indicators**

15

ネパール2018年経済センサス 速報結果の概要 URL

ネパール中央統計局(CBS)の URL

[http://cbs.gov.np/sectoral\\_statistics/Eco\\_Cen\\_2018/NEC\\_2018\\_Preliminary\\_result](http://cbs.gov.np/sectoral_statistics/Eco_Cen_2018/NEC_2018_Preliminary_result)

ネパール2018年経済センサス速報結果の URL

[http://www.stat.go.jp/info/meetings/nepal/d15\\_pr\\_report1.html](http://www.stat.go.jp/info/meetings/nepal/d15_pr_report1.html)

完

16